

日本の衛星放送の基盤

BSAT-3c / JCSAT-110R

見事! 打ち上げ成功

日本時間2011年8月7日早朝、2度の打ち上げ延期状態にあったBSAT-3c/JCSAT-110Rがフランス領ギアナのアリアンスペース社の射場から見事打ち上げられた。

打ち上げ後、衛星は既に太陽パネルなどの展開も完了し、予定通り東経110度上空に静止化した。

よほどの事故がない限り、2011年9月中旬には、放送衛星システム社、スカパーJSAT社に受け渡されることになろう。

衛星打ち上げに現地で立ち会った矢橋隆取締役が今回の衛星打ち上げミッションの重要性について聞いた。

(構成: 天野昭/矢橋氏撮影: 新井誠/収録日は2011年8月10日)

ハラハラ・ドキドキの 打ち上げドラマ

——矢橋取締役はフランス領ギアナ行きは今度で3度目だそうですね。しかも3度とも打ち上げ成功だそうですね。

矢橋 1998年のBSAT-1b、2003年のBSAT-2c、それに今回のBSAT-3cです。3連勝ということです(笑)。なにしろBSは国の実験衛星から数えて今回で16回目の打ち上げなんです。過去に3回も打ち上げに失敗しています。かなりの確率で失敗しています。

——まるでロシアンルーレットのようです(笑)。

矢橋 とにかくBSは「ゆり」の時代から打ち上げに成功しても故障したり、順調

に動いたことのほうが少ないくらいです。つまりBSは苦難の運命を背負いながら今日まで命脈を維持してきた、なでしこジャパンのようなしぶとさがあります。

——当初の打ち上げ予定は、日本時間で2011年7月2日の早朝でした。打ち上げの様子が中継されるというので、早起して伺いましたが燃料配管のバルブの故障とかで、あえなく延期。そして8月6日の早朝。せっかく出かけていったのですが、風向きが悪く延期。2度も期待はずれに終わりました。

矢橋 すいません、ご迷惑をおかけして(笑)。実は3度目の正直ということで、現地時間8月6日夕刻、私は今度は大丈夫だろうと期待していたのですが、やは

り風向きが悪く、またもや延期か、と思われた寸前に風も静まり、無事打ち上げということになりました。射場は管制室から12キロ離れたところにあります。日本から行った弊社の竹中、スカパーJSATの西山会長、それに私などは管制室に収まっていることはできず、一斉に屋外に出て打ち上げの瞬間を待ちました。そのうち、眩い閃光と、少し遅れて轟音が聞こえ、ロケットは噴煙を巻き上げながらユックリと上昇していきました。当日は上空に雲もなく、小さな明るい星のようになり、やがてほとんど見えなくなるまで外で見つめていました。とにかく3度目が一番、ドキドキでしたが感動しました。